

車両内で医療提供へ オンライン診療など

オリコンサルら
実証実験開始

オリエンタルコンサルタンツら5者は、車両内で医療サービスを提供する「医療Maas（モビリティ・アズ・ア・サービス）」の実証実験を6日に開始した。三重県大台町で町内の集会

所などを巡回するマルチタスク車両を使ってオンライン診療、オンライン服薬指導、薬剤配送の一連の流れを検証する。実施期間は11月末まで。

実証実験はオリエンタル

コンサルタンツ、医療情報プラットフォームなどを提供するMRT（東京都渋谷区、小川智也社長）、ソフトバンクとトヨタ自動車の共同出資会社モネ・テクノロジーズ（東京都千代田区、清水繁宏社長兼最高経営責任者〈CEO〉）、大日本印刷、三重広域連携スーパースイティ推進協議会（久保行央会長）の5者で実施。オリエンタルコンサルタンツは実証実験の運営や事業性検討などを担う。

MRTは内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省が連携して選定する2022年度スマートシティ関連事業のうち、経産省「無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業（地域新Maas創出推進事業）」の実証事業に関わる受託事業者に選定されている。

実証実験では、さまざまな用途に利用可能なマルチタスク車両を使い、車両内で医療サービスと行政サービスを提供。加えて、公的

施設の活用や薬剤配送の連携による取り組みの有効性を検証する。実証実験に当たっては大台町の報徳診療所と近隣の薬局が協力する。

車両内ではマイナンバーカードの申請など、行政に関するオンライン手続きも行えるようにする。